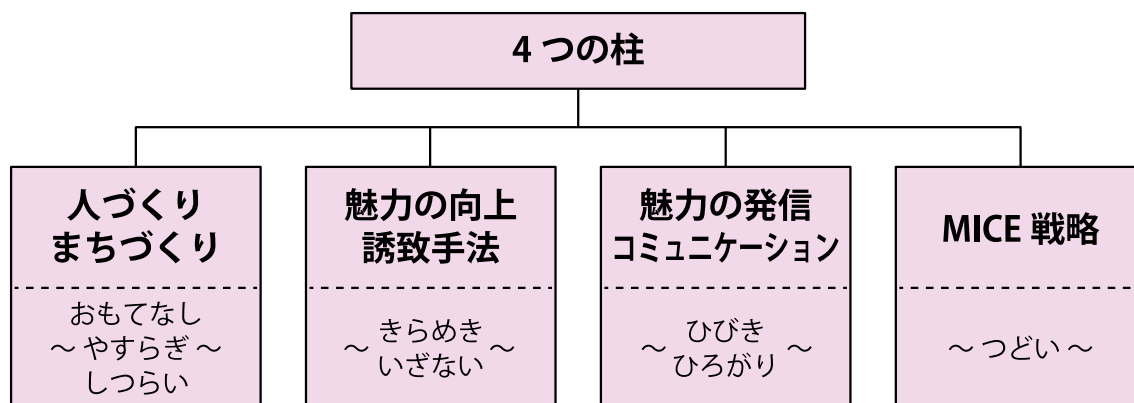


3 計画の4つの柱と施策

191事業（164事業 + MICE戦略27事業）

うち 重点事業47事業（37事業 + MICE戦略10事業）



人づくり,まちづくり～おもてなし・やすらぎ・しつらい～

- ① 市民が京都への誇りを高める機運を醸成し、市民ぐるみで旅行者をあたたくお迎えするために、子どもから大人まで京都の魅力を再認識できるよう、伝統文化や伝統産業等に触れる機会を創出する。
- ② 観光経営を学ぶ高等教育機関等の創設・誘致など、京都ならではの「おもてなし」を研究し、広め、京都らしい、おもてなしの名人を育み支える。
- ③ 地域の安心・安全の確保や、帰宅困難者対策や外国人観光客対応の充実など緊急時の対応の強化、食の安心・安全の確保など、全ての方が京都観光をお楽しみいただけるよう「安心・安全」を徹底的に高める。
- ④ 京都ならではの伝統産業製品や人の魅力に触れることができる「買物」を通じて、楽しさを提供できるまちづくりを進める。
- ⑤ 車いすレンタル制度創設をはじめとする、ユニバーサルツーリズムの推進や、観光地のトイレの環境整備、外国人観光客に対応するWi-Fi環境や案内標識をはじめとする言語環境整備など、「やさしさ」あふれるまちづくりを進める。
- ⑥ 歩く楽しさを更に引き出す歩いて楽しいまちづくりの推進や、自転車観光の推進、観光客向け公共交通案内の充実、観光地をつなぐ公共交通機関の利便性向上に取り組む。
- ⑦ ホテルや旅館をはじめ、安心・安全で多様な形態の宿泊施設（宿坊・特区制度の活用・空き家等）の整備を支援する。

魅力の向上,誘致手法～きらめき・いざない～

- ⑧ 京都文化芸術プログラム2020(仮称)との融合など京都の文化・芸術をいかした観光資源化を推進する(琳派400年・伊藤若冲300年・伝統芸能等)。
- ⑨ 「朝観光」,「夜観光」(音楽鑑賞,観劇,伝統芸能,文化施設の夜間開館等),「地域観光」(温泉等)の充実により滞在の長期化を推進する。
- ⑩ 市民と観光客の交流を推進する体験型プログラムの充実やスポーツイベントなどを観光にいかす(スポーツツーリズム)など,様々な要望に応じた観光商品の開発を進め産業振興等を推進する。
- ⑪ 優れた京都の伝統産業・景観・文化財を「守り」,「育て」これらを「いかす」ことにより,京都の都市格と魅力を高める。
- ⑫ 和装,京の食文化,日本酒,京野菜等の京都が培ったあらゆる価値の蓄積をいかした新たな観光資源を創出する。
- ⑬ 地域と連携した新たな観光資源の掘り起こしや既存観光地の再構築,祭り・伝統行事などの地域の魅力の発信による地域の活性化を図る。
- ⑭ 国内修学旅行生や大学生等の誘致強化など,京都のよき理解者となりうる青少年層の誘致を推進するとともに,海外からの教育旅行誘致や大学等との連携強化により留学生誘致を推進し,国際交流による相互理解を促進する。
- ⑮ 成熟した訪日旅行者(目利き層)・ムスリム層(イスラーム教徒)市場等の深耕など,国の政策をけん引する外国人観光客の誘致策を強化する。
- ⑯ 国内観光状況の変化や国内重点市場の設定による国内観光客誘致策の充実を図る。
- ⑰ 外国人観光客の要望に合わせて,「自然(海・山・雪)と京都」,「テーマパークと京都」など,他の地域との連携を強化し,京都とは異なる魅力的な観光資源と組み合わせた効果的な誘致を行う。

魅力の発信,コミュニケーション～ひびき・ひろがり～

- ⑱ 東京オリンピック・パラリンピック等の大規模スポーツイベントに合わせた京都の魅力発信を強化する。
- ⑲ 京都をまだ知らない方,興味を持った方,来ようとしている方,お越しいただいた方,それぞれの希望や求めるものを把握し,京都の魅力に対する理解の促進と,京都へのあこがれを醸成するための情報の受発信を強化する。
- ⑳ 観光客に向けたリアルタイムの情報発信,情報の公開・共有等の情報流通の自由化(オープン化)など,双方向の案内・情報発信体制を強化し,京都に来られた方と京都に住む方とのコミュニケーションの充実を図る。
- ㉑ 伝統文化・伝統産業の維持・継承,京都経済への波及効果など,京都の観光の意義や効果等を市民に広くお知らせし,市民が観光に対する理解を深めていただける取組を推進する。

MICE 戦略～つどい～

- ① 開催支援メニューの充実,産学公連携の強化,宿泊・飲食・会場施設等をコーディネートする組織やワンストップ窓口を開設するなど,主催者が京都を選択しやすい環境を整える。
- ② 京都にふさわしいMICE誘致の強化を図る。とりわけ,ミーティング・報奨旅行対策の強化などMICEによる経済効果を最大限にする。
- ③ 環境・科学・文化・歴史など世界の平和や人類の未来に貢献する国際会議の誘致を図る。
- ④ MICEの開催を通じて都市の活力を向上させる。

「感動」は、「満足」を超えて想定以上の出来事が起こった場合に、心から湧き出るものです。観光客の皆様想像以上の体験を提供し、感動を増やすためには、あたたかい「おもてなしの心」が大変重要です。

おもてなしの心は、「京都に対する誇りや京都のまちの素晴らしさを多くの人に感じてほしい。」このような思いやりの心が、観光客の皆様をあたたかくお迎えすることにつながります。そのためには、京都が有する歴史と伝統に裏打ちされた精神性や文化、芸術、文化財や伝統産業などの京都の奥深い魅力を市民の皆様自身に知っていただき、楽しみ、再認識していただく必要があります。

京都に住んでいると、観光客の皆様と接する機会が数多くあります。子どもから大人まで、観光業に携わる方もそうでない方も、全ての人が、京都で培われた「おもてなし」の文化に更なる磨きをかけ、観光客の皆様的心里に寄り添い、京都の歴史と伝統を愛する「おもてなし」を実践できる人材の育成を進めていきます。

さらには、これまで京都は多くの観光客の皆様をお迎えしてきましたが、観光客の皆様目線に立って考え、快適に過ごせるまちの仕組みを整えることが重要です。京都ならではの地域力、人間力を活かした「誰もが安心安全に、笑顔で楽しく暮らし、観光できる、やさしさあふれる、おもてなしのまちづくり」に取り組んでいきます。世界中から様々な方にお越しいただくには、様々な最新技術も活用しながら、ハード・ソフトの両面からやすらぎあふれるまちづくりを考えていく必要があります。多様な国の方々が快適に過ごしていただけるまちづくりは、市民の皆様にとっても快適に暮らすことができる、住んでいてよかったと思っただけのまちづくりへとつながります。市民の皆様や観光客の皆様の不満を一つ一つ解消し、満足度を高めるまちづくりを進めます。

京都には「おおきに」という良い言葉があります。「おおきに」という言葉を発することによって、京都にお越しいただいたという感謝の心、京都に寄せていただいたという感謝の心、おもてなしをする方も、される方も思いやりの心で「おおきに」という気持ちでつながることができます。世界的に通用する「Thank You」と同じくらいに「おおきに」を普及させ、京都の言葉として世界中に伝えていきたいと思います。

施策①

市民が京都への誇りを高める機運を醸成し、市民ぐるみで旅行者を
あたたかくお迎えするために、子どもから大人まで京都の魅力を再認
識できるよう、伝統文化や伝統産業等に触れる機会を創出する。

京都には本物の「歴史・伝統・文化等」が身近に数多くあるために、「いつでも見ること
ができる」、「いつでも体験できる」という思いからか、京都観光の持つ魅力を積極的に楽し
む機会が少ない市民の皆様に、京都の歴史や文化を再認識し、京都観光の魅力や特性をお
知らせし、魅力を実感いただくことで「市民の誇り（シビック・プライド）」の醸成、向上に
努めます。

推進事業 13事業

★：推進事業のうち特に重要で優先度が高い重点事業

- ★ 子どもから大人まで、市民が京都の歴史や文化に触れ、京都の魅力を知り、体験できる機
会の創出と発信（市民の京都再発見事業）
 - ▷ 京都の小中学校での学校教育を通じた、子どもたちへの伝統文化や伝統産業に触れる機
会の充実
 - ▷ 国際文化観光都市・京都を支える人材や、世界的視野を持ち国際社会で活躍する人材の
育成に向けた、小・中・高の連携を見据えた英語教育の充実
 - ▷ 市立高校における、海外研修等を含めた「グローバルリーダー育成研修」や長期・短期留
学支援の実施による国際的な教養の習得等、世界で活躍できる人材の育成
 - ▷ 小学生を中心としたジュニア京都検定の実施と、中学生に対する京都・観光文化検定の
受験機会の提供による京都への興味関心、知識等の更なる深化
 - ▷ 中学生・高校生・大学生等の観光施設等での職業体験の実施
 - ▷ 高校生・大学生等を対象に京都観光に関するアイデアを募集するコンテストの開催
 - ▷ 市内の文化施設等の学生割引適用の推進等による、大学生が京都の魅力に触れる機会の
拡充
 - ▷ イベント、祭り等でのボランティアガイドの活躍の場の提供と、ボランティア団体の活
動の活性化及び団体間の連携を目的とした研修の実施
 - ▷ グローバルな視点を持ちつつ、地域社会の発展に寄与する学生の育成や、学生と京都企業
がお互いを知る機会の創出
 - ▷ 留学生をはじめ外国籍市民等を含む市民一人一人が、日本・京都の魅力や価値を深く
理解し、世界に発信する担い手となるための人材育成
 - ▷ 京都の歴史に親しめる講座や親子で歴史を学ぶ教室の開催等の充実、文化財防火・市民
講座、文化財防火サマースクールの開催による市民等が京都の歴史や文化財に触れる機
会の更なる創出
 - ▷ あらゆる市民が国際理解を深める機会の提供など国際感覚を持った人づくりの推進

施策②

観光経営を学ぶ高等教育機関等の創設・誘致など、京都ならではの「おもてなし」を研究し、広め、京都らしい、おもてなしの名人を育み支える。

観光客の皆様と接する場所、例えば、観光案内所の窓口や宿泊施設のフロント、公共交通機関等でのお客様とのやりとりなどが、京都に対する印象を大きく左右することは間違いありません。さすが京都と言われるような「おもてなし」を更に進めるため、おもてなしの名人となる方々を育み支えるためのしくみを整備していきます。

推進事業 6事業

★:推進事業のうち特に重要で優先度が高い重点事業

- ★ 特区による通訳案内士法の特例を活用した伝統産業・伝統文化等を説明できる専門性の高い通訳ガイドの育成と京都市認定ガイド制度の導入
- ★ 外国人観光客が安心して利用していただける事業者の認定制度の創設
- ★ 「おもてなしコンシェルジュ」制度の充実とコンシェルジュ間の交流機会の創出による京都ならではの「おもてなし」の向上
- ★ 観光経営を学ぶ高等教育機関等の創設・誘致の支援
 - ▷ 京都・観光文化検定試験の普及及び合格者の活動機会の創出
 - ▷ 市役所職員における英語での京都の魅力の発信力を高めるための「発信型英語講座」の実施

施策③

地域の安心・安全の確保や、帰宅困難者対策や外国人観光客対応の充実など緊急時の対応の強化、食の安心・安全の確保など、全ての方が京都観光をお楽しみいただけるよう「安心・安全」を徹底的に高める。

地域と協働した安心・安全の取組は、市民の皆様の暮らしを守るだけでなく、観光客の皆様が安心して訪れることのできるまちとなります。「世界一安心安全・おもてなしのまち京都」を目指し、市民ぐるみで取組を進めます。

また、東日本大震災以降、特に災害時や緊急時の体制整備が一段と重要になっています。非常時には、正確な情報提供と迅速な誘導が欠かせません。観光客の皆様への情報提供や誘導は、市民の皆様への情報提供や誘導にもつながります。正確かつ迅速な非常時の体制整備を進めます。

さらに、平常時においても、外国人観光客の方々をはじめとする観光客の皆様への案内体制の充実や、食の安心・安全、まちの安心・安全の確保等、楽しく快適に京都観光をお楽しみいただくための環境整備を進めます。

推進事業 14事業

★: 推進事業のうち特に重要で優先度が高い重点事業

- ★ 京都ならではの地域力, 人間力をいかした, 京都府警察との連携による「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」での観光客の安心・安全の向上
- ★ 地域と一体となった観光客等帰宅困難者対策の訓練の継続実施や緊急時災害情報の提供, 京都が観光客等に対して行っている安心・安全の備えについての国内外への情報発信
- ▷ 宿泊施設等への24時間多言語コールセンター対象施設の拡大, 対応言語の充実
- ▷ 公共下水道に接続した災害用マンホールトイレの整備による, 災害時におけるトイレの確保
- ▷ 「京都市Web119」, 「安心救急ステーション」や「119番通報時の多言語通訳事業」など緊急時の観光客の安心・安全を守る体制の整備・充実
- ▷ ホテルや旅館をはじめとする市内建築物の耐震化や防火改修の推進と適合情報の発信による宿泊者の安心・安全の確保
- ▷ 京都の歴史・文化に培われた町並み景観を継承した密集市街地や細街路の安全性向上等, 地域と連携した防災のまちづくり
- ▷ 「京(みやこ)・食の安全衛生管理認証」の取得促進に伴う更なる食の安全の確保による安心・安全な「京の食文化」を楽しむ観光の推進
- ▷ メニューや食材情報(アレルギー)等の多言語マニュアルを作成・配布するなど, あらゆる人にやさしい京の食の安心・安全の確保
- ▷ 全国の学校関係者に対する食の安全確保に関する取組情報の発信による, 修学旅行生が安心して京の食を楽しむことができる取組の推進
- ▷ 観光客等に対する新型インフルエンザ等感染症発生時の適切な情報の提供や, 効果的な誘客活動等による風評被害対策
- ▷ 地域との連携による「文化財市民レスキュー」や, 災害発生時の初動対応観光ガイドを養成する「文化財防災マイスターの養成」の促進による, 災害時の文化財保護の取組強化
- ▷ 露店等の火災予防などイベント等の安心・安全の取組強化
- ▷ 商店街等と連携した, 市内の繁華街における客引き行為等を防止する京都の都市の風格の更なる向上

施策④

外国人観光客が京都ならではの伝統産業製品や人の魅力に触れることができる「買物」を通じて、楽しさを提供できるまちづくりを進める。

外国人観光客にとっての大きな楽しみの一つである「買物」を京都で安心して、気持ちよく、快適に楽しんでもらうための更なる環境整備を進めます。

推進事業 7事業

★:推進事業のうち特に重要で優先度が高い重点事業

- ★ 商店街等への免税店の更なる拡大による外国人観光客にやさしい買物環境の整備
- ★ 外国人観光客対応に関する事業者向けの相談窓口やコールセンターの運営による事業者にやさしい受入体制の強化
- ★ 外国人観光客に向けて、京都の伝統産業製品の手間・ひまを掛けた制作工程や、品質の高さ、使い方等を伝えることができる販売店への多言語化の支援
- ★ 買物だけでなく、伝統産業製品の制作体験が楽しめる販売店舗の情報発信
- ▷ クレジットカード、電子マネー等の利用環境の向上
- ▷ 外国人観光客が使用可能なA T M(自動現金預払機)設置の促進
- ▷ 事業者向け語学力向上のための支援の充実

施策⑤

車いすレンタル制度創設をはじめとする、ユニバーサルツーリズムの推進や、観光地のトイレの環境整備、外国人観光客に対応するW i - F i 環境や案内標識をはじめとする言語環境整備など、「やさしさ」あふれるまちづくりを進める。

2020年（平成32年）の東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、世界中から様々な方が京都を訪れます。50年後・100年後も訪問先として選ばれ続ける観光地を目指し、これを機に更なる環境整備を着実に進め、障害者、高齢者、外国人観光客をはじめ、誰にとっても不便を感じさせない「やさしさ」あふれるまちづくりを進めます。

推進事業 11事業

★: 推進事業のうち特に重要で優先度が高い重点事業

- ★ 車いすで楽しめる観光コースの設定やマップの作成
- ★ 観光地で利用可能な「車いすレンタル制度」の創設
- ★ 民間施設のトイレの活用やトイレの洋式化の推進など、観光地におけるトイレの拡充及び充実
- ★ 利用手続の簡略化や利用場所の拡大等、利便性の向上を目的としたインターネット通信環境(W i - F i)の充実
- ★ 観光施設等のバリアフリー化の推進や、ベンチの設置などちょっと一息つける休憩スポットの整備
- ▷ 「京都ユニバーサル・コンシェルジュ」の機能の充実や、ホームページの多言語化、「人にやさしいお店」の啓発や情報発信等によるユニバーサルツーリズムの更なる推進
- ▷ 全ての人々が安心・安全で円滑に移動できることを基本とした、駅やその周辺道路等のバリアフリー化の推進
- ▷ 情報通信技術(ICT)の活用を見据えた、名所旧跡の由来等を記載した駒札の整備と連携した、観光案内標識アップグレード推進事業の充実
- ▷ 外国人観光客に向けた、観光案内マップ、パンフレット等の多言語化の推進や楽しくわかりやすい案内表示方法の検討
- ▷ 安心・安全でおいしく高品質である京都の水道水を子どもたちや市民はもとより、外国人観光客を含む皆様にお飲みいただける、市内観光地等への「京(みやこ)の水飲みスポット」(水飲み場)設置の推進や多くの市民や観光客の皆様を涼しいミストでおもてなしするための、観光都市・京都の玄関口である京都駅前市バスのりばや京都ならではの夏の伝統行事の場などへのミスト装置の設置
- ▷ 市庁舎前広場を新たな憩いの空間として創出するとともに、徹底したバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入など、「おもてなし」の心を備えた、すべての人にやさしい市庁舎の整備

施策⑥

歩く楽しさを更に引き出す歩いて楽しいまちづくりの推進や、自転車観光の推進、観光客向け公共交通案内の充実、観光地をつなぐ公共交通機関の利便性向上に取り組む。

「また来たい」と思ってもらえるよう、交通渋滞などの不満の解消や自転車観光のための環境整備、手ぶら観光の推進など、満足を高める取組を進めていきます。

推進事業 9事業

- ▷ 市民や観光客に公共交通を容易に使いこなしていただき、公共交通の利用促進を図るため、交通渋滞等を予測した京都市内を運行する18のバス・鉄道事業者の乗換検索が可能な無料アプリ、「歩くまち京都アプリ」『バス・鉄道の達人』の運用
- ▷ 公共データ（オープンデータ）の利用促進や高度な情報通信技術（ICT）の活用による、産学公が連携した「京都未来交通イノベーション研究機構」での研究による公共交通の利便性の更なる向上
- ▷ 案内表示の多言語化や駅トイレのバリアフリー化、地下鉄烏丸線への可動式ホーム柵の設置推進、バス接近状況のお知らせ（バスロケーションシステム）の充実等、市バス・地下鉄の利用環境の整備充実と利便性の更なる向上
- ▷ 歩行者が、安心・安全、快適に通行することのできる空間の確保を最優先にした、「歩いて楽しい東大路」や四条通の歩道拡幅の取組推進と、活気や賑わいにあふれた京都駅南口駅前広場の整備
- ▷ 観光客の不満である交通渋滞の解消に向けた、観光地等における自動車流入抑制策の検討と、パークアンドライドの実施
- ▷ 観光客等の入洛者への公共交通優先への自発的転換（モビリティ・マネジメント）の推進
- ▷ 観光事業者と連携したキャンペーンの実施等による手ぶら観光の更なる推進
- ▷ 自転車観光のための環境整備と情報発信の充実
- ▷ 京都へのアクセス向上のためのリニア誘致やヘリポートの整備の支援

施策⑦

ホテルや旅館をはじめ、安心・安全で多様な形態の宿泊施設(宿坊・特区制度の活用・空き家等)の整備を支援する。

繁忙期の宿泊施設の不足解消に向けた支援を行うとともに、魅力あふれる宿泊施設の増加に取り組めます。

推進事業 6事業

- ▷ 世界的な知名度の高いホテルの誘致や京都の特性を加味した特区制度等の活用による宿泊施設の増加策の推進
- ▷ 宿泊施設の内装や調度品への京都の伝統産業製品の活用や、京の食材、みやこ杉木の活用等の働きかけの実施
- ▷ 空き家等を活用した京町家のゲストハウスや留学生のすまい等への整備の支援
- ▷ 和風旅館、京町家、宿坊、寮、農家住宅などの魅力をいかした宿泊施設の活用
- ▷ 宿泊施設等の省エネ化・低炭素化の推進
- ▷ 宇多野ユースホステルの更なる魅力向上と長期滞在者向け取組の推進